

科学談話室『サイエンスカフェ』へのお誘い

常盤町在住 中東 重雄

今年（2023年）6月より松浪コミュニティー・センターにて、サイエンスカフェという「自然のふしぎや科学に関するなぜ」を中心としたテーマについて、専門用語を極力使わず、なるべく平易な言葉で解説、紹介するという科学談話室を設けている。この名前は、1997年頃イギリスやフランスで、喫茶店のような雰囲気、気楽にお菓子とお茶を飲みながら科学の話の聞いたり、語り合う場があった。その名前が『サイエンスカフェ』。チョット拝借した。

第1回目（ここではpage 1という）は、「宇宙ってどうしてできたんだろう？」というテーマ。宇宙は138億年前、「無」から始まり、高温高压の火の玉がビッグバンと呼ばれる大爆発によって爆発して誕生。そして今も膨張し続けている。ではなぜこのような大昔のことがわかるのか、カフェではその理由についても解説する。page 2（7月開催）では、「アサガオのふしぎ、どうしてツルは巻きつくの、目があるの？」というお話。植物は葉っぱの中で自分の食べ物を作る光合成というスーパーシステムを持っている、この光合成は現代の人間の知恵や技術を持ってしてもいまだマネすることができない、人間は葉っぱ1枚にかなわない、というお話。page 3（8月）では、「地上最強の動物クマムシその驚くべき正体をさぐる」というお話。クマムシは休眠状態という体に水分がほとんどない仮死状態になると、151℃の高温中や-273℃という低温の中でも生きていくことができるし、宇宙空間でも生きられる。そして水をかけると生き返る、という不思議な動物。またみんなで光学顕微鏡を使ってコケの中からクマムシを見つけた。page 4（10月）では、「植物はこんなにかしく生きていく」というお話。

このようにサイエンスカフェでは、「自然のなぜやふしぎ」について、みんなで楽しく気楽にお話をする。テーマによっては顕微鏡などを使って実際観察したりする楽しい自然科学についてのお話の会である。父兄の方々も是非サイエンスカフェにふらっと寄ってください。



《なぎさの子村まつり》 2024年1月27日(土)に開催します

『なぎさの子村まつり』を 2024年1月27日(土)午後夕見台小にて開催予定で準備を進めています。みなさん、遊びにきてください。

《編集後記》

コロナも下火になって一安心ですね。この1年の活動をまとめて「なぎさの子」23号をお届けします。
(平松民平)

汐見台小学校教頭に就任いたしました楠山小百合と申します。

日頃より地域の皆様には、子どもたちをあたたく見守り、支えてくださることにとても感謝しております。汐見台小学校といえば、目の前にある湘南海岸の砂浜、キラキラ輝く水面、そして烏帽子岩と海が思い浮かびます。子どもたちは海の近く自然に囲まれ、多くのことを学び、力強くたくましく育っています。この茅ヶ崎の自然を大切にしながら、子どもたちにその素晴らしさを伝えていくことは、私たち大人の重要な役割の一つだと思います。そして、一生懸命に取り組み、達成感にみちあふれる子どもたちの笑顔はいつ見ても素晴らしい…大切な『たからもの』です。まだまだ不安なことも多いですが、前を向き、子どもたちの笑顔や可能性を少しでも多く引き出していくことに全力を注いでまいります。人との「つながり」を大切にした教育を目指して、地域の皆様と子どもたちの健やかな成長に携わっていきけるよう、努力を重ねていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



松浪中学校教頭に就任いたしました中川美幸と申します。

令和5年4月1日付けで就任いたしました中川美幸と申します。日頃より推進協をはじめ、地域・保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。4年間にわたり、ご活躍された譜久山文野前教頭先生の後任としての職務は、私には重いものではありませんが、伝統と実績の豊富な松浪中学校で勤務させていただけることを大変光栄に感じております。温かく協力的な地域・保護者の皆様との出会いにも感謝です。

今年度は様々な学校行事や地域行事が、コロナ禍以前のように開催されています。私だけでなく、本校職員の中にも初めて経験する者が多く、子どもたちと同じ目線で楽しみに参加させていただいております。本校の強みである地域・保護者の皆様と教職員との連携・協働を最大限に活かしながら、浪中生の皆さんの社会的自立に向けた教育活動に取り組んでいきたいと考えています。今後ともご協力よろしくお願いいたします。



《さわやかな青空の下でビーチクリーン&ミニ運動会》

5月27日（日）、汐見台推進協では去年にひき続き第2回目の『なぎさの子☆ビーチクリーン&ミニ運動会』を行いました。子ども達や保護者の方にビーチクリーンの大切さを知ってもらい、海岸で安全に楽しく遊んでほしいという想いで始めました。さわやかな青空の下で、120名あまりの親子が集まりました。かながわ美化財団に用具などをご協力いただき、ざるやふるいにかけて砂浜のごみを分別しました。小さなプラスチック破片やたばこ、木片などいろいろなごみが落ちているので子ども達は驚いていました。そのあとは、お楽しみのミニ運動会。ビーサン飛ばしとビーチフラッグスを親子で楽しみました。ビーチフラッグスではお父さんや校長先生が大活躍で子ども達の声援が飛び交いました。最後には宝探し、おみやげを嬉しそうに持ち帰りました。（佐々木）



《子どもたちの感想》

- プラスチック・アルミかん・シーグラス・かいがらをみつけてたのしかったです。その中でもビーサンとばしがたのしかったです。
- 私は、ビーチクリーンにいきました。ぜんぶとってましたのしかったです。
- そうじができてたのしかった。うんどうかいもたのしかった。
- ビーチクリーンでごみをたくさんみつけました。ミニ運動会のビーサン飛ばしで1番をとれた。
- 私は、「なぎさの子☆ビーチクリーン&ミニ運動会」は、はじめてきて思ったより楽しかった。次は持ったゲームをふやしてください。
- ビーチクリーンでそうじしたとき、プラスチックのごみが思ったより多かったです。でも今日参加したから、ごみが少し減ってうれしかった。
- 初めての「なぎさの子☆ビーチクリーン&ミニ運動会」がとても楽しかったです。いろんな遊びやゲームなどがたくさんあってすごいいいと思いました。
- わたしは、初めてビーチクリーンをしたとき、たくさんごみがあって驚きました。特に驚いたのは、鉄と炭がおちていたことです。もしこの2つが海に入っていたら、魚などの生き物がまちがえて食べてしまったら死んでしまう可能性があるのと、とてもおそろしいなあと思いました。他にも、ビニール袋のかけらや小さなプラスチック、はりがねなどがたくさん落ちていたので、魚の安全を守るためにもビーチクリーンは大切だなと思いました。最後にミニ運動会で、宝探しをしたときに、「校長賞」をもらえてうれしかったです。今度から海に来たときは、ごみが落ちていないか確認してみたいと思います。

《夏の寺子屋》

夏休みに松浪コミセンにて『夏の寺子屋』を開催しました。汐見台小学校の運営協議会が主催、汐見台推進協が協力し学習支援や子どもの居場所作りを目的として行いました。子ども達は、夏休みの宿題や自由研究など自分のやりたい物を持ち込み自由に学べます。初めての試みで7/21の午後、7/26午前、8/22午前、8/25午後の4回でしたが、参加した子どもたちは30人ほど。何回も来てくれた子どももいます。見守る大人は地域の方々、年齢も様々です。汐小の先生方もご参加くださいました。お友だち同士で勉強したり、兄弟で勉強したりと色々でしたが、途中休憩を入れ、開き読みをしたり、紙飛行機を作ったりと地域の方々とも子どもが関わる学びの場となりました。汐小から顕微鏡を借りてのクマムシ探しもしました。大人が何をしているのかな？と質問したり、どうやってやるの？と子どもから聞かれたり世代を超えて一緒に学べる場所があるということに意味があると感じるひとときでした。参加してくれた子どもたちからは、「家にいるとゲームなどの誘惑に負けてしまう」「弟に邪魔されずに集中できる」といった声もありました。「また寺子屋をやりたいな」と嬉しい感想もいただきました。（木村）



子どもも大人も
楽しく参加



《地域のイベントに協力しました》 —夏から秋にかけてお祭りがたくさん開かれました—



《盆踊り大会模擬店》

8/5、松浪地区「盆踊り大会」が開催され、推進協はポップコーン販売のお手伝いをしました。猛暑の中、長蛇の列、大盛況でした。夕暮れの校庭に響き渡る音頭に合わせて、浴衣姿の子どもたちも楽しそうに踊っていました。（矢野）



《社協福祉ふれあいまつり》

10/15、朝から雨が降っていて、寒いスタートでしたが、小学生やステージに参加していた中学生達が楽しそうに模擬店でフルーツやジュースで楽しく過ごしてくれたことが、私もとても楽しかったです！（和田）



《松浪コミセンまつり》

10/29縁日ブースの輪投げを担当させていただきました。地域の子もたちと大人とのコミュニケーションの大切さを改めて実感した貴重な一日でした。これからも、様々な地域活動を老若男女を問わず、多くの方々と盛り上げていきたいと思いました。（小松）

